

MGU Chapel Letter

—第 55 号 2025 年 10 月 29 日— 発行：大学宗教センター

* 2025 年度 年間聖句 *

「あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。」

詩編 119 編 105 節



11 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- ・ 11 月 5 日（水） 長尾 厚志 （日本基督教団仙台ホサナ教会牧師）
- ・ 11 月 7 日（金） 平賀真理子 （宗教主事）
- ・ 11 月 10 日（月） 佐々木哲夫 （学院長・宗教総主事）
- ・ 11 月 12 日（水） 風間 義信 （日本キリスト改革派仙台教会牧師）
- ・ 11 月 14 日（金） 清水 禎文 （教育学部教授）
- ・ 11 月 17 日（月） 中家 契介 （日本キリスト教会仙台黒松教会牧師）
- ・ 11 月 21 日（金） 松本 周 （一般教育部教授）
- ・ 11 月 26 日（水） 竹迫 之 （日本基督教団白河教会牧師）
- ・ 11 月 28 日（金） 栗原 健 （大学宗教センター長）

～11 月 19 日（水）は学友会秋季総会（3 校時休講）のため、
24 日（月）は祝日のため礼拝はありません。～

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp

✦ クマが人里に下りて来るのは ✦



クマの襲撃に関するニュースが、今年は異例の勢いで増えています。本学の裏手に広がる水の森でも 10 月 24 日、体長 50 センチほどクマが目撃されました。水の森公園では今年 5 月にもクマが出没しています。さすがにキャンパスまで入って来たことはありませんが、最近のクマは「人慣れ」して以前ほど人間を避けなくなっているとの話もあるので、注意が必要です。

それにしても、なぜ人里に下りて来るクマが増えているのでしょうか。大きな要因は環境の変化です。気候変動や森林破壊のため、クマが主食にして来たどんぐりなどが森の中で減少しています。その上、温暖化の影響で動物たちが冬眠に入る時期が遅れるようになり、食物を確保しなくてはならない時期が長くなりました。このため、空腹を抱えたクマたちが、食べられる物を求めて町や村にやって来るようになったのです。実はクマは、人間が惹き起こしている環境破壊の犠牲者と言えます。

旧約聖書の創世記には、「主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた」（2 章 15 節）との文章が登場します。ここで「耕す」訳されている言葉は、旧約聖書のもとの言語であるヘブライ語では「アーバド」と言いますが、これは「仕える」を意味する単語でもあります。つまり、人間は「大地に仕え、守る者」として創られたと聖書は述べているのです。

自然世界が豊かに実を結ぶことができるように、世話をする存在。それが本来の人間だったことになります。良い農夫とは、作物の育ち具合を注意深く観察し、そのニーズを読み取ってケアをすることができる者ですね。そのように真摯に自然の声に耳を傾けることができる力を持つことが、人間の条件だったと言えます。

現代の人間は、この力をほとんど忘れてしまいました。自然に仕えるどころかこれを破壊し、他の生き物たちを苦しめているだけでなく、自分自身の首を絞め上げている状態です。先のローマ教皇フランシスコは、現代人の行いを「『皆が共に暮らす家』を破壊するものだ」と厳しく批判しましたが、まさに環境破壊は「的外れ（罪）」の最たるものだと言えます。

クマの話は、気候変動の影響が身近に押し寄せていることを示す 1 つの事例です。環境破壊を食い止めるために自分にも何ができるか、真剣に考えて行きましょう。（栗）

▼ QA コーナー ▼

ハロウィンはキリスト教のお祭りですか？

答え： 直接的には NO です。

ハロウィンは、古代ケルト民族（アイルランドなどの人々）が行っていたサムハインという収穫祝いの祭りから来ています。冬の始まりを告げる、季節の境目の日でもありました。なので、キリスト教の祝祭ではないですね。



ただし、関係している部分もあります。中世の教会では、この日に続く 11 月 1 日と 2 日は、死者のことを覚えて祈る日（万聖節・万霊節）としていました。日本のお盆のような感じです。「ハロウィン」という言葉も、「All Hallows' Eve 万聖節の前夜」から来ています。そのために、この夜が死者（＝幽霊）と結びつけられた面があります。

お化けの仮装をしたりお菓子をもらい歩く習慣は、19 世紀にアメリカで広まった遊びです。日本では、ここ 20 年ほどの間にポピュラーになりました。 (栗)

✦ 点灯式のご案内 ✦

クリスマスシーズンの始まりを告げるイルミネーション点灯式が、まもなく開催されます。クリスマスに明かりを灯す習慣は、「わたしは世の光である」（ヨハネによる福音書 8 章 12 節）と言われたイエス・キリストの誕生を思い起こすものです。暗闇の中にも輝く神の愛をおぼえながら、ぜひご参加下さい。

☆ クリスマス・イルミネーション点灯式

日時： 11 月 17 日（月）16 時 30 分～17 時

場所： 礼拝堂（点灯の際にはベルタワ－前に移動）

メッセージ： 大久保直樹先生（中高宗教主事）

奏楽： 三友安紀子さん（大学音楽科副手）

賛美： 中高ハンドベルクワイア

演奏： 中高音楽班

